

事業シート②

【平成20年度】

課コード	001035	作成日	平成21年8月28日
所属名	高齢者福祉課	作成者	関 功

事業名		戦略性	
高齢者施設運営事業			
事業概要			
目的 (対象、意図、求められる結果)		開始年度	終了予定年度
地域の高齢者に対して、教養の向上、レクリエーション等の場を提供し、もって高齢者の心身の健康の維持、増進を図ることを目的とする。		昭和 46年	年
活動内容【イン・プット】			
<p>地域の高齢者の生きがい活動の拠点として、老人福祉法等に定める「老人福祉センター」、「老人憩の家」、「介護予防拠点施設」等を設置し運営する。</p> <p>【老人福祉センター】湖東荘管理運営事業、江之島荘管理運営事業、湖南荘管理運営事業、竜西荘管理運営事業、萩原荘管理運営事業、可美荘管理運営事業、いたや荘管理運営事業、青龍荘管理運営事業、浜北高齢者ふれあい福祉センター管理運営事業、舞阪老人福祉センター運営事業、雄踏老人福祉会館さつき荘運営事業、雄踏老人福祉会館つつじ荘運営事業、龍山老人福祉センター 【老人憩の家】天竜老人憩いの家やまゆり荘及びせきれい荘</p> <p>【介護予防拠点施設】舞阪シニアプラザ陽だまり管理運営事業、細江介護予防センター管理運営事業、佐久間高齢者生きがいセンター運営事業、水窪高齢者生きがいセンター運営事業、水窪高齢者交流センター運営事業、龍山雲折桜の家</p> <p>【その他】施設整備事業、施設用地管理事業</p>			
事業の性格分類		実施根拠(法令、条例等)	
<input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的事業		老人福祉法、浜松市老人福祉センター条例 等	
		新市建設計画事業	ワークジョブ提案事業
事業運営方法			
<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等			

平成20年度のコスト【イン・プット】

事業費(千円)		財源(千円)		職員人件費(千円)		1,600
計	355,696	計	355,696	内訳	正規職員(人工)	0.2
人件費	0	国庫支出金	0		非常勤職員(人工)	0.0
扶助費	0	県支出金	0		再任用職員(人工)	0.0
物件費	325,664	内訳	市債	0	年間経費(千円)	357,296
維持補修費	1,413		受益者負担金	0		
補助費等	1,661		その他	0	受益者負担率(%)	0.0
その他	26,958		一般財源	355,696		

定量評価

指標1	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
利用者数	目標	人	628,281	634,564	640,910	647,319
	実績	人	621,771	647,896	654,687	
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	356,561	351,268	357,296	377,684	377,338

指標2	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%				
	実績	%				
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円					

定性評価

事業目的の達成状況

老人福祉センター等の21施設の運営・管理の実施

	H18年度	H19年度	H20年度	(対前年比)
・延べ利用人員	621,771人	647,896人	654,687人	(101.0%)
・平均利用人員/日	2,071人	2,159人	2,174人	(100.7%)
・一館当たり人員/日	115人	122人	124人	(101.6%)

◎高齢者の生きがい活動拠点として平成20年度も引き続き利用者が増加し、施設利用の定着が図られた。

内部評価の結果

(1)必要性		A 終了 B 廃止 C 継続	(理由) 教養や健康増進、交歓の場として多くの高齢者に利用されている。
C 継続			
(2)実施主体		A 民間(民営化) B 国、県、広域 C 市	(理由) 国要綱により原則的に利用料が無料とされており、利益が出にくい施設でもあることから、行政の関与が必要である。 平成18年度より13館で指定管理制度を導入。
C 市			
(3)選択と集中		A 拡大(予算) B 現状(予算) C 縮小(予算)	(理由) 指定管理制度を積極的に導入している。
B 現状			
(4)改善		<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 一部廃止 <input type="checkbox"/> 受益者負担 <input type="checkbox"/> 一部民営化 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> 非常勤化 <input checked="" type="checkbox"/> その他改善 <input type="checkbox"/> 現状	(理由) 指定管理制度を積極的に導入している。
A 改善あり	A 改善あり B 改善なし		
今後の事業展開			
今後の方向性		(理由)	
C 改善	A 拡大 B 現状 C 改善 D 廃止	「老人福祉センター」等については、全市的に必要数を満たしており、当面現体制を維持する。	
今後の方向性を実現するための具体的取り組み(何をいつまでにどうするか)			
今後も経費の節減やサービスの充実に努めるため、平成21年度から5年間の指定管理者による管理・運営を継続する。 具体的には、健康の増進のための「健康相談」や「機能訓練」の実施、また、各種教養講座を開催し教養の向上を図る。 また、その他の施設についても、利用者の利便性を考慮し、柔軟な対応を心がけ、地域に密着した運営を目指す。 老人福祉センターの利用者は年々増加している状況である。今後においても高齢化の進展と相俟って、さらに老人福祉センターの需要は伸びると予測される。また、高齢者のニーズも多様化しており、アンケート調査などにより利用者ニーズを把握していきたい。 施設の適正配置や高度利用化については、地域や利用者等の声を聞くとともに、利用者の利便性等も考慮する中で、今後検討していきたい。			
廃止できない理由(廃止した場合に想定される影響)			
地域の高齢者の集会施設であり、生きがい活動の中心となっている。廃館等すれば、生活の一部であった憩いの場が無くなり、地域の衰退が顕著となる。			

政策・事業外部評価結果報告シート

事業名	高齢者施設運営事業			
所管課名	高齢者福祉課			
内部評価 (外部評価前)	方向性	理由		
	現状	「老人福祉センター」等については、全市的に必要数を満たしており、当面現体制を維持する。		
外部評価	【採点結果】 4点満点			
	①事業の目的や内容が理解できたか	②事業の達成状況や効果が理解できたか	③内部評価の結果とその理由は妥当か	総合評価(平均)
	2. 8	2. 7	2. 5	2. 7
	【主な意見】			
	<ul style="list-style-type: none"> 施設の改修は需要予測とセットとすべきだが、これからの老人が現状の老人福祉センターを利用するのか疑問。高齢化率ではなく将来利用する人たちのニーズを予測すべき。 高齢者の居場所づくりは必要だが大きな箱ではなく、小規模で多くの場所が必要。 合併後の施設再配置というアプローチから施設の適正配置や高度利用化も検討すべき。 			
今後の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センターの利用者は年々増加している状況です。今後においても高齢化の進展と相俟って、さらに老人福祉センターの需要は伸びると予測されます。また、高齢者のニーズも多様化してきておりますので、アンケート調査などにより利用者ニーズを把握していきたいと考えております。 高齢者の居場所については、老人福祉センターのほか地元集会所や公民館などと併せて利用していただきたいと思っております。 施設の適正配置や高度利用化については、地域や利用者等の声を聞くとともに、利用者の利便等も考慮する中で、今後検討していきたいと考えております。 			